

令和 7 年度事業報告について
(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

1. 令和 7 年度助成事業について

(1) 研究助成金の交付

令和 7 年 3 月 4 日の選考委員会の答申を受け、3 月 19 日開催の令和 6 年度第 2 回定時理事会で承認された土木分野 26 件、建築分野 26 件、i-construction 部門 5 件、地域工学分野 11 件の計 68 件について、助成金計 7,039 万円を 4 月及び 10 月の 2 期に分けて交付した。

区分	No	氏名	所属	研究課題	助成額 (万円)
土 木 分 野	1	阮 坤林	早稲田大学	近赤外分光スペクトルを用いた締固めたベントナイトの含水比推定手法の提案	100
	2	佐藤 賢之介	山梨大学	塩化物イオンの作用によるコンクリートの DEF 膨張の発生リスク評価	100
	3	道家 涼介	弘前大学	人工衛星データの活用による斜面モニタリングおよび評価手法の確立	100
	4	原本 英司	山梨大学	下水疫学調査を用いた新興・再興感染症の流行モニタリング技術の開発	100
	5	楊 沐野	九州大学	炭素繊維補強した鋼部材の接着界面における劣化挙動評価と高耐久化設計	100
	6	白崎 伸隆	北海道大学	ヒト iPS 由来腸管上皮細胞を活用した浄水消毒工程におけるノロウイルスの未知動態の解明	100
	7	小林 弘明	あいち産業科学技術総合センター	ケイ素化合物を添加したジンクリッチペイントの腐食挙動に関する研究	100
	8	大嶋 俊一	金沢工業大学	抗菌剤を添加した表面含浸材の効果に関する基礎的検討	100
	9	Joo Hyo Eun	東京大学	アルカリシリカ反応によるコンクリートの局部ひび割れ発生メカニズムと力学性能との関係解明	100
	10	花岡 大伸	金沢工業大学	アルカリ活性材料の鉄筋腐食メカニズムと腐食発生限界塩化物イオン濃度の解明	100
	11	佐倉 亮	北海道大学	土木鋼構造連結部の長期変形特性と保有耐力推定のためのクリープ変形挙動の解明	100
	12	太田 岳洋	山口大学	火山岩地域における地震動に起因した斜面崩壊発生に関わる地形地質的効果の基礎研究	100
	13	稲垣 直人	熊本大学	作濤工を用いた自然営力による浅海域の底泥誘導の可能性	100
	14	吉本 憲正	山口大学	分級構造を有する砂の液化強度発現メカニズム	100
	15	河野 哲也	富山大学	含浸材混入法の実用化に向けた反応安定化による力学特性・劣化抑制効果の定量的予測手法の開発に関する研究	100
	16	石丸 太一	東京理科大学	流出土粒子径に着目した浸透の揺らぎを受ける盛土構造物における細粒分流出の継続・発達メカニズムの解明	100
	17	澤田 茉伊	東京科学大学	間隙の物理から構築する不飽和粒状体モデル：接触角測定の高精度化手法の開発	100
	18	西川 隼人	福井工業大学	貯水タンク被害に影響を及ぼす地震動特性の解明と被害評価への適用	100
	19	須田 裕哉	新潟大学 (琉球大学)	リアルタイムモニタリング手法を用いたコンクリートの中性化進行に及ぼす環境条件の影響評価	100

20	角田 貴之	中央大学	下水処理場を高純度リン酸回収施設へと転換するリン吸着膜処理プロセスの提案	100
21	田崎 拓海	京都大学	水理実験と数値移動床の協働による掃流砂の流体力モデルの修正	100
22	長谷部 寛	日本大学	流れの可視化に基づく複数平板のフラッター振動を利用した風力発電システムの効率化	100
23	山口 隆司	大阪公立大学	ダブルスピンドルファスナーを用いたフルフラットな現場ボルト接合部の開発	100
24	斎藤 隆泰	群馬大学	コンクリート非破壊評価のための量子アルゴリズムを用いた次世代トモグラフィ理論の開発	100
25	志賀 正崇	長岡技術科学大学	令和6年能登半島地震における液状化統合データベースの構築	100
26	樊 堯	埼玉大学	パラフィンによる高吸水性樹脂のカプセル化およびそれを用いた高い自己治癒性能を持つコンクリート材料の開発	100
土木分野計				2,600

※ 所属欄の（ ）内は、申請時の所属。

区分	No	氏名	所属	研究課題	助成額 (万円)
建 築 分 野	1	末包 伸吾	神戸大学	持続可能性のその先へ： 「CASE STUDY HOUSES」における建築の規格化と バイオフィリック な環境創造の特質およびその可能性に関する研究	99
	2	胡桃澤 清文	北海道大学	分子動力学法による高炉スラグ微粉末の反応性に関する基礎的研究	100
	3	西脇 智哉	東北大学	自動補強システムにより構造補強したコンクリート3Dプリント建築部材の実現	100
	4	真木 利江	広島女学院大学	トゥルグ・ジュのブランクーシ記念作品群におけるランドスケープデザイン の保存管理手法に関する研究	100
	5	安武 敦子	長崎大学	恒久利用を見据えた応急仮設住宅団地の供給計画手法に関する研究	100
	6	松原 独歩	東京農工大学	水掛かりを受ける合わせ梁型木材摩擦接合部のモーメント抵抗性能評価	100
	7	高牟礼 光太郎	秋田大学	多自由度風洞と最適化技術を駆使した大気乱流制御技術の開発	100
	8	海野 聡	東京大学	木造建築文化遺産の保存の理念と実践に関する日欧比較	100
	9	齋藤 直紀	東京大学	ロンドンにおける高架下空間を活用した都市再生評価手法の構築	100
	10	岩元 真明	九州大学	建築模型のデジタルアーカイブに関する研究：葉祥栄アーカイブの模型資料 を対象として	100
	11	荒木 美香	関西学院大学	オーゼティックを用いた金属板自由曲面シェル構造の開発	100
	12	樋渡 彩	近畿大学	食のテリトリーオの枠組みに関する考察——ポー川流域を事例として	100
	13	石川 和輝	宇都宮大学	乾燥・湿潤時のひずみを用いた新しいBiot係数測定方法の開発に向けた研究	100
	14	LI YUTONG	東京理科大学	タイル壁面の接着一体性評価における打音検査の自動化技術に関する研究	94
	15	大森 文彦	東京科学大学	都市臨海部における土地利用規制に関する史的研究 ～港湾計画・臨港地区 制度と都市計画の關係に着目して～	100
	16	山名 善之	東京理科大学	東京・パリ・ロンドンにおける鉄骨屋根付き市場比較研究	100
	17	小山 拓	群馬大学	高温環境下における連続繊維補強材を用いたプレストレスト床板を模擬し た耐爆裂 性能試験方法の開発	100
	18	大森 洋子	久留米工業大学	大正期の直営工事による町家の建築生産方式と材料の流通に関する研究	100
	19	小松 喜美	秋田大学	折板屋根先端に生じる氷柱の形成防止に関する研究	100
	20	佐藤 公亮	三重大学	激甚連発地震を受ける冷間成形角形鋼管柱の超多数回繰返し局部座屈挙動 と耐震性能	100

21	塚本 由晴	東京科学大学	都市における樹木の下の人々のふるまいー建築としての樹木ー	100
22	中川 純	東京都市大学	熱的シークエンスを伴った建築デザインに関する基礎的研究	100
23	五十嵐 豪	名古屋大学	画像解析による木質材料の水分移動の可視化の基礎的検討	100
24	大和 征良	小山工業高等専門学校	コンクリート強度と異形鉄筋の節形状の差異が接着系あと施工アンカーの高温時高温履歴後の付着強度に及ぼす影響	100
25	能作 文徳	東京科学大学	里山資源を活用したバイオベース断熱材に関する基礎的研究	100
26	鈴木 広隆	神戸大学	面照射型人工照明を搭載したマルチコプターの取得画像によるクラック検出システムの開発	96
建築分野計				2,589

区分	No	氏名	所属	研究課題	助成額 (万円)
I C 分 野	1	篠原 崇之	産業技術総合研究所	地震工学分野における説明可能性の高いサロゲートモデルの基礎検討	100
	2	大友 渉平	秋田工業高等専門学校	下水処理場における温室効果ガス排出管理に向けたドローンフラックス法の構築	100
	3	片岡 誠	芝浦工業大学	BIMと大規模言語モデルを組み合わせた建築基準適合判定の自動化	100
	4	朱牟田 善治	神奈川大学	デジタルツイン・IoTセンシング技術を用いた水管橋の劣化診断・予測	100
	5	圓道 知博	東京都市大学 (長岡技術科学大学)	ICT建機のための広視野ARヘッドアップディスプレイの研究	100
	IC分野計				500

※ 所属欄の（ ）内は、申請時の所属。

(I C : i-construction)

区分	No	氏名	所属	研究課題 (申請区分)	助成額 (万円)
地 域 工 学 分 野	1	牛木 彩子	国際医療福祉大学	傾斜地における高齢者の身体能力と行動範囲の研究ー熱海市においての転倒予防パンフレットとワークショップ(実装)	50
	2	入江 光輝	宮崎大学	中学生がつながく気候変動に対応した宮崎県五ヶ瀬川の流域治水(開発)	150
	3	鈴木 素之	山口大学	災害復旧・復興期における複合災害の発生に対応した防災福祉コミュニティの創成: 令和6年能登半島地震とその後の豪雨災害を踏まえて(開発)	150
	4	廣石 秀造	日本大学	自伐型林業における伐採材の建築的活用に関する研究(開発)	150
	5	福林 良典	宮崎大学	日南層群における道路土工の設計施工ガイドライン作成に向けた事例研究(実装)	50
	6	五三 裕太	九州大学	福岡県柳川市における水門を活用したローカル・インフラツーリズムの開発ー地域主導による総合的な水環境管理・活用に向けて(開発)	150
	7	林 倫子	関西大学	防災まちづくりへの応用を目指した滋賀県水害履歴調査(実装)	50
	8	平尾 しえな	東京科学大学	里山フェムテックー道具からみる農的活動への女性参加の可能性ー(開発)	150
	9	武樋 孝幸	長岡工業高等専門学校	再生可能エネルギー複合利用による施設園芸のゼロエネルギーモデルの構築(開発)	150
	10	渡邊 大志	早稲田大学	「むらやし」研究-特産品「むらやしプロダクト」の開発による、地域の自律的運営方法の検証に関する実践的研究- (開発)	150
	11	陳 建中	畿央大学	住居近傍における「屋外居場所」の創出および空間装置の在り方(開発)	150
地域工学分野計					1,350
研究助成総計					7,039

(2) 国際会議助成金の交付

令和7年3月4日の選考委員会の答申を受け、3月19日開催の令和6年度第2定時理事会で承認された6件の国際会議について、助成金計600万円を4～7月に交付した。

区分	No	会議名称	期間	責任者	助成額 (万円)
共通	1	IIIAE 2025世界会議in名古屋	令和7年11月3日～11月7日(5日間)	一般財団法人東海技術センターM&I推進部 部門長 奥出 信博	100
建築	2	国立代々木競技場世界遺産登録推進国際シンポジウム	令和8年3月14日～3月15日(2日間)	千葉大学大学院融合理工学府地球環境科学専攻都市環境システムコース 准教授 豊川 斎赫	100
共通	3	第19回IWA 汚泥管理に関する国際会議	令和7年10月21日～10月24日(4日間)	京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻 教授 高岡 昌輝	100
建築	4	第14回 暖房換気空調に関する国際シンポジウム	令和7年12月2日～12月5日(4日間)	芝浦工業大学建築学部 教授 秋元 孝之	100
共通	5	国際構造工学会2025年東京シンポジウム	令和7年5月18日～5月21日(4日間)	早稲田大学理工学術院 教授 秋山 充良	100
土木	6	第2回国際社会水文学会議	令和7年7月19日～7月21日(3日間)	名古屋大学大学院工学研究科 土木工学専攻 准教授 中村 晋一郎	100
国際会議助成合計					600

(3) 特別研究テーマの助成金の交付

特別研究テーマへの助成については、3月19日開催の選考会及び令和7年度第2回定時理事会で承認された20グループに対して、助成金計1,991万円を交付した。

(4) 令和7年度 地域工学分野シンポジウムの開催

日時： 令和8年3月6日(金) 15時半～18時

会場： 東京大学生産技術研究所 S棟プレゼンテーションルーム

参加人数： 47名

参加者属性： 令和7年度 地域工学研究助成分野採択者(10名)、共同研究者(17名)、選考委員(3名)、財団役員等(7名)、東大生研関係者(10名)

開催内容： 令和7年度 地域工学研究助成採択者の研究課題の中間報告

2. 令和7年度顕彰事業について

(1) 前田工学賞及び山田一字賞の授与

令和7年3月4日の選考委員会の答申を受け、3月19日開催の令和6年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し、令和7年5月30日(金)東京會館（東京都千代田区丸の内）において授賞式を行い、前田工学賞の受賞者には賞状及び賞金（200万円）を、山田一字賞の受賞者にはそれぞれ賞状及び賞金（100万円）を贈呈した。

前田工学賞受賞者

区分	氏 名	所 属	論文題名
土木分野	加藤 智大	京都大学 大学院地球環境学堂	Geoenvironmental Management of Excavated Earthen Materials with Geogenic Contamination
建築分野	酒井 正樹	株式会社大林組 技術研究所生産技術研究部	中性化後の鉄筋腐食の進行を考慮したRC造建築物の耐久性評価手法に関する研究
ＩＣ分野	伊藤 陽	日本電信電話株式会社 アクセスサービスシステム 研究所シビルシステムプロ ジェクト	機械学習を用いた通信地下管路の地震被害推定手法の構築

山田一字賞受賞者

区分	氏 名	所 属	論文題名
土木分野	松浦 忠孝	東京電力ホールディングス 株式会社 経営技術戦略研究所技術開 発部	石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの強度発現性および各種劣化機構に関する細骨材のキャラクタリゼーションに基づく考察
土木分野	岩本 匠夢	海上・港湾・航空技術研究 所 港湾空港技術研究所沿岸水 工研究領域	高精度な台風気象場を用いた高潮の詳細解析
建築分野	武藤 宝	東京大学 生産技術研究所人間・社会 系部門	Mechanical Properties of Pneumatically Pre-stressed Structure
建築分野	岡 健太郎	職業能力開発総合大学校 能力開発院基盤ものづくり 系	木摺り漆喰吊り天井の力学的挙動と持続可能な利活用に向けた健全度評価手法の提案
ＩＣ分野	李 陽洋	鹿島建設株式会社 技術研究所AI×ICTラボグ ループ	空間構造の三次元デジタルアーカイブにおける計測点群からの幾何学的有意データ抽出手法に関する研究
ＩＣ分野	山口 大翔	東京大学 生産技術研究所	正多角錐枠体に基づく位相モジュールを用いたセルフビルド建築システム

3. 令和8年度事業に対する広報・募集及び選考活動について

当法人の助成金の交付時期は、研究者の年度計画達成を援助するため、新年度期首に交付している。そのため、標題の諸活動は先行的に令和7年度中に実施している。

(1) 広報活動

- ①当財団HPに募集要項、応募用紙を掲載した。(X (旧 Twitter) にも掲載)
- ②土木学会HP及び土木学会誌、建築学会HPに募集要項を掲載した。
- ③土木学会誌、建築学会建築雑誌に公募記事の同梱広告(チラシ)を入れた。

(2) 募集活動

令和3年度の募集より、従前の土木、建築分野にIC分野が新たに追加されているため、情報系の学部も新たに追加して、全国約280の工業高等専門学校、大学、大学院、国立研究開発法人のそれぞれの学部または窓口機関に募集依頼、募集要項及び学会誌同梱用に作成したチラシを送付している。

(3) 選考

①研究助成について

土木分野71件、建築分野79件、IC分野10件、昨年度から公募した地域工学分野には18件の応募があった。応募課題に対し、定められた評価要素につき第一次審査を行い、令和7年12月3日開催の第1回選考委員会(IC分野分科会は12月1日、地域工学分野分科会は12月2日開催)において、土木分野43件、建築分野46件、IC分野6件、地域工学分野は13件を第二次審査に付すこととした。

第二次審査は、全選考委員による審査結果に基づいて、令和8年3月13日開催の第2回選考委員会(地域工学分野分科会は3月6日開催)において、土木分野23件、建築分野23件、IC分野5件、地域工学分野11件の候補者を選定し、磯部選考委員長から岸理事長に報告した。

理事長はこれを、同年3月18日開催の令和7年度第2回定時理事会に上程し、出席理事全員一致で選考委員会選定の候補の助成を決定し、その後申請者に通知した。

②前田工学賞・山田一字賞顕彰について

応募状況は、土木分野16件、建築分野19件、IC部門4件の計39件であった。

ア. 応募にあたって提出された学位論文の内容要旨及び論文業績について出席した選考委員全員によって、定められた評価要素を勘案し、一次審査を行った。令和7年12月3日開催の第1回選考委員会(IC分野は12月1日開催)において、土木分野で7件、建築分野で13件、IC分野で2件の計22件を二次審査に付すこととした。

イ. 二次審査は、学位取得時の本論文を委員全員で審査した。

その結果を令和7年3月13日開催の第2回選考委員会において審議し、前田工学賞として土木分野1名、建築分野1名、I C分野1名の合計3名を、山田一字賞については土木分野2名、建築分野2名、I C分野1名、合計8名の候補者を選定し、磯部選考委員長より岸理事長に報告した。

ウ．理事長はこれを、同年3月18日開催の令和7年度第2回定時理事会に上程し、出席理事全員一致で顕彰を決定し、その後申請者に通知した。

令和8年度前田工学賞受賞者

土木分野：石原 行博 氏
建築分野：吉田 卓彌 氏
I C分野：陳 庭松 氏 以上3名

令和8年度山田一字賞受賞者

土木分野：坂本 亮 氏
 松本 知将 氏
建築分野：柳沢 伸也 氏
 連 勇太朗 氏
I C分野：伊賀上 卓也 氏 以上5名

③国際会議助成について

土木分野2件、建築分野3件、共通分野1件、合計6件の申請があった。第1回選考委員会において、申請された6件全てを詳細に審査することとし、その結果を基に第2回選考委員会において選考した。選考の結果、土木分野2件、建築分野2件、共通分野1件を国際会議助成候補とすることとなり、理事長に報告した。

理事長はこれを、同年3月18日開催の令和7年度第2回定時理事会に上程し、出席理事全員一致で選考委員会選定の候補の助成を決定し、その後申請者に通知した。

④特別研究テーマの選考について

特別研究テーマには31件の応募があった。

令和8年3月18日開催の特別研究テーマ選考会では、令和7年5月30日の理事会で選任された審査理事により20グループを選定し、同日開催された令和7年度第2回定時理事会に上程し、出席理事全員一致で選考会選定の候補の助成を決定し、その後申請者（グループの代表者）に通知した。